本号のトピック

ウィンターカップ出場

女子バスケットボール部

中３修学旅行

鹿児島県を堪能！

れいめいのバトン

これがリアルな
お医者さんの姿です！

れいめいタイムズ　冬号

女子バスケットボール部
Jr WINTER CUP 出場

一月四日(火)～八日(土)、武蔵野の森総合スポーツプラザで行われた「第二回Jr.ウィンターカップ」に出場しました。対戦結果は一回戦で高知県の北陵中に勝利、二回戦は栃木県のサザンギャルズに四点差で敗退しました。三年生を中心に粘り強いプレイを見せ、最後まで諦めることなく挑戦し続けました。

三年生にとっては最後の大会。試合を終えた三年生の吉井陽南さん、東郷朱莉さん、新キャプテンの一柳侑杏さんにインタビューをしました。

吉井さん：３年生キャプテン
東郷さん：３年生メンバー
一柳さん：２年生新キャプテン

1回戦を通過した時の気持ちは？

吉井さん▽後半点を縮められてひやっとしましたが、最後まで集中を切らさずに戦えました。一人一人がいい表情をしていてチーム全体としてもまとまっていて、全国での初戦突破は嬉しかったです。

東郷さん▽この大舞台でしっかり勝ち切ることができてよかったなと思いました。でも試合後半に捻挫をしてしまって、次の試合に出られないことを知り、後悔の残った試合になりました。

2回戦終了後の気持ちを教えてください。

吉井さん▽怪我をした仲間のためにもチーム一丸となって絶対に勝つという思いだったのですが、負けてしまって悔しかったです。とてもいい雰囲気で試合ができた点では、中学校最後の試合を後悔なく終われたことに感謝しています。

一柳さん▽自分としては悔いの残る試合になってしまったのですが、これが三年生とできる最後の試合だったので、今まで三年生とプレイしてこれたことを誇りに思えました。

苦労したことや大変だったことはなんですか？

吉井さん▽チームのキャプテンとしてまとめるときに、みんなの気持ちがバラバラになってうまくいかないこともありました。ただ、こうやってぶつかってきたからこそ、最後は全国大会という大きな舞台に立って今まで以上のプレイができたんだと思います。

東郷さん▽三年間過ごしてきて、横どうし縦どうしのつながりがうまくいかないこともありました。最後はまとまり、いい雰囲気で終えることができたのでよかったです。

今後の見通しと課題を教えてください。

吉井さん▽中学校で負けた悔しさを忘れず、高校ではインターハイ、ウィンターカップに出場して、一勝でも多く勝てるように日々の練習から高い志をもって取り組むようにしていきたいです。

東郷さん▽高校生になったら一年生から活躍できるようなプレイヤーになりたいです。全員で全国に行って、いい結果を鹿児島に持って帰ります。

一柳さん▽すでに新チームはスタートしています。三年生が抜けてからコートの中での声が減ってしまっているので、「コミュニケーションが大事」ということを全員で共通理解して、明るい雰囲気で練習できるようにしたいです。今後は越えられなかった全国ベスト4を達成できるように、チーム全員で頑張ります。

修学旅行 in鹿児島

昨年に引き続き県内での修学旅行となりましたが，生徒たちは鹿児島の魅力を再発見することができました。

①指宿大好き手びねり体験

たくさんの体験メニューから**手びねり**を選択！初めての作業に戸惑っていましたが，完成品を使うようすをイメージしながら作りました。

②桜島で鹿児島の歴史を見る

桜島・錦江湾ジオパークにて「ガイドと一緒だから楽しめる，ここでしか味わえない体験」を堪能。**桜島の名前の由来**から**海底火山噴火の影響**まで，いろいろな豆知識をたくさん教えてもらいました。

④高千穂牧場でヒツジとたわむれる

最終日は霧島神宮でお参りをした後，高千穂牧場へ向かいました。**ポニー**を見たり，**ヒツジ**の餌やりを体験したりして楽しんでいました♩

③鹿屋体育大学で授業体験

最新技術を利用して走る速さや力の入り方を計測しました。たくさんのハイテク機器を見て，**鹿屋体育大学に入りたくなった… 他の大学にはどんな施設があるのか気になってきた** という生徒もいました。

未来へつながる～れいめいのバトン～

研修医で縁のあった先輩医師に憧れ，生死を分けるような救急の現場で自らの外科医としての能力を高め，より多くの患者さんを救えたらとの思いで脳神経外科を選んだ福留さん。

医者になって４年目を迎えた福留さんに，中高時代から現在そしてこれからのことを聞いてみました。

福留琢哉さん

平成18年れいめい中学入学

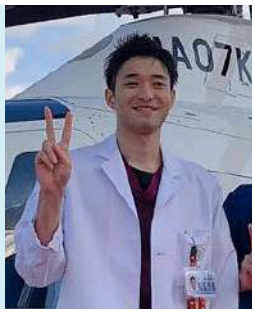
平成24年れいめい高校文理科卒業

→自治医科大学

→鹿児島大学附属病院

→県立大島病院

→肝付町立病院（2021年4月から）



現在のお仕事について教えてください。

脳神経外科医として、鹿児島大学の医局に所属しながら肝付町立病院を拠点に、過疎地域の診療所などで定期的な出張診療を実施しています。「ドクターコトー」的な診療をしているとイメージしていただけたらと思います。

△手術の様子

コロナ禍で医療現場は大変だったのでは？

大島病院は周辺離島の起点病院のため広範囲をカバーしています。そのため、一時は隔離する患者さんの数が多く、先が見えない不安はありましたね。医療のひっ迫というよりも、現場の看護師さんが家族と会えないなど、見えないところでストレスを抱えているようでした。

医者になってよかったことは？

実際は医者って、手術だけ上手ければ良いって世界じゃないです。仕事の大部分は患者さんと話している時間が圧倒的に多いですね。患者さんのベッドサイドで話すとか・・・老若男女問わず患者さんやその家族など、さまざまな人と関われるのは良い仕事かなと思います。

これからやりたいことは？

将来的には研修医時代に出会った先輩医師のように県内を巡り、病気だけではなく患者さんの家族や生活に向き合い、生涯にわたり患者さんと寄り添って信頼される医師になりたいですね。

れいめいの後輩や小学生にメッセージをお願いします。

中高六年間ずっと一緒に過ごした仲間たちとは卒業してからも付き合いが続いているのですが、それも「れいめい」の良さかなと思います。

将来のためにも中学高校の時間のあるうちにさまざまな体験を通じて見聞を広めておくと良いと思います。実際にうちの病院でも職場体験の受け入れをしていますが、学生さんから「将来お医者さんになりたい」という声をよく聞きます。

学校法人　川島学園

れいめい中学校

▷▷SNSには学校行事やイベントを随時掲載しています。▷▷

ホームページ QRコード

reimei. reimei. reim

HIGHSCHOOL_REIMEI

facebook

Instagram